

講演会

「日本の自然史研究における シーボルトの貢献」



写真:シーボルトが日本から持ち帰った
自然史関係標本、資料、植物など。



トキ



ハマナス。シーボルトがオランダに導入したもの。
ヨーロッパで愛好され、今でも公園、道路等
でよく普通に見かけられる。



オオサンショウウオ



ニホンオオカミ



植物標本

日 時: 平成23年1月18日(火) 16:20~17:50(5時限目)

場 所: 香川大学教育学部2号館 2F 遠隔教育調査研究室

講 師: 山口 隆男 博士 (元熊本大学教授)

「知の協働を実現するディベロプメント・サイエンスの可能性」
というテーマのもと、専門領域を超えた情報交換の場及び知的協同
作業を実現するために、本講演会を開催します。

講師には、オランダに40回渡航し、精力的にシーボルトの調査研
究を行っている山口隆男博士 (元熊本大学教授) をお招きします。

お問い合わせ: 村山 聡 muras@ed.kagawa-u.ac.jp
滝川祐子 osakana@ag.kagawa-u.ac.jp

* 本講演会は平成22年度香川大学特別奨励研究の一部です。